

別冊「資料編」では、より詳細な情報をご覧ください。

－ 別冊「資料編」の目次 －

I	契約・在庫情報	
(1)	平成29・30年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）	1
(2)	産地別事前契約数量（累計、うるち米、平成26～29年産）	9
(3)	平成29・30年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米）	11
II	米の価格情報	
(1)	米の相対取引価格の推移（通年平均価格）	25
(2)	業者間取引の状況	28
①	日本コメ市場（随時取引の結果）	
②	日本コメ市場・クリスタルライス（取引会の結果）	
③	（株）加工用米取引センターの取引結果	
④	米の現物市場の状況	
III	主食用米以外（輸出を含む）	
(1)	加工用米及び新規需要米等の生産状況	31
①	加工用米の生産量（平成17～令和元年産）	
②	新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移（平成20～令和元年産）	
③	令和元年産 都道府県別の生産状況	
(2)	飼料用米のマッチングの取組状況、 配合飼料メーカーへの飼料用の供給等	33
(3)	政府備蓄米の運営	34
	備蓄米の買入入札の結果（落札実績）（平成23～令和元年産）	
(4)	商業用の米の輸出数量及び金額の推移	35
(5)	2019年の主な増加要因	36
(6)	米菓の輸出数量及び金額の推移	37
(7)	日本酒（清酒）の輸出数量及び金額の推移	38
IV	消費動向	
(1)	米の消費動向（米穀機構による調査）	39
(2)	小売価格の推移（POSデータ、主な銘柄）	42
V	その他	
(1)	米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和2年2月分）	43
(2)	平成30年産水陸稲の収穫量	48
(3)	水稻作付面積及び収穫量等の年次別推移（全国）	52
(4)	水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、 10a 当たり収量及び収穫量（子実用）の年次別推移（全国）	52
(5)	年産・都道府県別主食用米の作付面積及び収穫量等の推移	55
(6)	麦・大豆の需要情報	57
①	令和2年産麦の産地別銘柄別入札結果	
②	令和元年産大豆の産地別銘柄別入札結果	
(7)	野菜等の需給情報	64
(8)	米の安定取引研究会報告書の概要	68

○米に関する各種情報は「米に関するメールマガジン」でも毎月発信中です。登録方法は下記URLを参照ください。  
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

# 「米の安定取引に向けた取組」へのお願い

—産地と実需の結び付きによる安定的な取引関係の構築—

「需給・価格の安定」のために皆様へお願いしたい3つのこと

- 1 産地側から実需者側に直接販売するルート of 拡大
- 2 産地と実需者間での複数年契約等の事前契約の拡大
- 3 用途毎の品質や価格ニーズに対応するため、多収品種の導入等による生産コストの低減

## 米をめぐる現状

### ① 米の消費動向

- ・ 我が国の主食用米の消費量は、今後、毎年「約10万トン」程度減少すると見込まれる



### ② 中食・外食事業者からの声

- ・ 消費量が減少見込みの中、中食・外食向けの米の消費量は堅調に推移
- ・ 一方、中食・外食事業者からは希望する価格帯での調達が難しくなったとの声

#### 米消費における 中食・外食割合

H9 18.9%

H30 30.0%

### ③ 新たな需要の拡大

- ・ 米粉用や輸出用などの新たな需要が拡大する傾向



こうした状況の中で、今後とも米の需給及び価格の安定を図っていくためには、

- ① 産地側が実需者側のニーズを的確に把握すること
- ② 産地側と実需者側がしっかりと結び付いた安定的な取引関係を構築すること

が重要です。

上記3つの取組実施により、全体での需給の均衡と、産地は「安定的な販路の確保」、実需者は「安定的な仕入れの確保」が、それぞれ図られるものと考えられます。

# 農林水産省による取組支援

- 農林水産省としても、こうした取組を後押しするため、実需者と産地のマッチング支援や複数年契約の拡大、一般家庭用向け及び中食・外食向けの米の販売動向等の情報提供、各産地における多収性品種の導入等の取組の推進等に努めます。

## 実需者と産地のマッチングイベント「米マッチングフェア」への支援

**米マッチングフェア 2019**

2019年8月・9月 2020年1月・2月  
東京2回・大阪2回

業務用途に特化した米の商談会

## 「米に関するマンスリーレポート」での情報提供

### ○ 事前契約及び複数年契約数量

播種前時点での事前契約の状況を都道府県別に調査・公表

都道府県	令和元年産米 (平成31年3月末現在)		平成30年産米 (平成30年3月末現在)		対前年同月差	
	事前契約数量 ①	うち複数年契約 ②	事前契約数量 ③	うち複数年契約 ④	事前契約数量 ①-③	うち複数年契約 ②-④
北海道	153.7	153.7	133.6	133.6	20.0	20.0
青森	10.2	10.2	35.0	35.0	▲24.8	▲24.8

### ○ 中食・外食向けの米の仕入状況調査

中食・外食事業者に対して、米の仕入数量・価格の動向を調査・公表

#### 仕入数量の動向（平成31年1～3月）

前年からの変動	10%以上増加	5～9%増加	1～4%増加	前年同	1～4%減少	5～9%減少	10%以上減少
企業数割合	18%	14%	20%	14%	10%	10%	15%

## 生産コスト低減に向けた具体的な取組

### 省力栽培技術の導入

#### 直播栽培（育苗・田植えを省略）

(実証例)  
労働時間  
18.4時間/10a→13.8時間/10a  
(移植) (直播)  
費用(利子・地代は含まない)  
103千円/10a→93千円/10a  
(移植) (直播)



#### スマート農業技術の活用

営農管理システムの導入等により、作業のムダを見つけて手順を改善  
(実証例)  
田植え作業時間  
1.62時間/10a→1.15時間/10a  
(移植作業時間の削減)

#### 密苗栽培

育苗箱数を減らせるため、資材費の低減が可能。  
苗継ぎも少なく省力的  
(実証例) 育苗箱数 15～18箱/10a → 5～6箱/10a



### 大規模経営に適合した品種

#### 多収品種

単収  
530kg/10a→700kg/10a  
(全国平均) (多収栽培で単収増)  
生産費  
16千円/60kg(全国平均)  
→13千円/60kg(試算)

#### 作期の異なる品種の組み合わせ

作期を分散することで、同じ人数で作付を拡大でき、機械稼働率も向上  
作業が  
1日当たりの作業量  
→  
作業ピークを分散  
コシヒカリ 作業時期  
→  
コシヒカリ ありだん

### 担い手への農地集積・集約等

- 今後10年間（2023年まで）で全農地面積の8割を担い手に集積
  - ・ 分散錯圖の解消
  - ・ 農地の大区画化、汎用化

### 生産資材費の低減

#### 農業生産資材価格の引下げ

- 生産資材業界の再編や法規制等の見直し
- 生産資材価格や取引条件等の「見える化」

#### 農業機械の低コスト仕様

- ・ 基本性能の絞り込み
  - ・ 耐久性の向上
- ⇒ 基本性能を絞った海外向けモデルの国内展開等  
(標準モデル比2～3割の低価格化)



#### 肥料コストの低減

- ・ 土壌診断に基づく施肥量の適正化(肥料の自家配合等)、精密可変施肥
  - ・ フレキシブルコンテナの利用(機械化による省力化等)
- ⇒ 土壌改良資材のフレコン利用(20kg袋比7%低価格化)



#### 合理的な農薬使用

- ・ 発生予測による効果的かつ効率的防除
  - ・ 輪作体系や抵抗性品種の導入等の多様な手法を組み合わせた防除(IPM)
- ⇒ 化学農薬使用量抑制

#### 未利用資源の活用

- ・ 鶏糞焼却灰等の利用
- ⇒ 従来品比7%低価格化



○ 問い合わせ先 農林水産省政策統括官付農産企画課米穀需給班  
代表：03-3502-8111（内線4975） 直通：03-6738-8973

# 「お米の輸出動画」 配信中！

## お米の新しい市場を開拓！ 「日本産米を世界へ」について

お米の輸出の可能性や農水省の輸出促進の取組について解説した動画を配信中！

「どうして今、お米を輸出するの？」「今、生産者や事業者の人はどんなことに取り組んでいるの？」という疑問にお答えします！

### 1. コメ輸出を取り巻く現状

国内消費量の減少、海外における日本食レストランの拡大、日本産米の輸出状況、中国向け輸出の指定施設の追加等コメ輸出に関する最近の動きを紹介。



「日本産米を世界へ」



### 3. 輸出産地及び輸出事業者へのインタビュー

現在輸出用の米を生産し、海外での販売に取り組む生産者に対するインタビュー、コメ・コメ加工品の輸出に取り組む事業者のインタビュー等を紹介。



「日本産米を世界へ！輸出への挑戦 生産者たちの声」



### 2. 輸出手続きに関する情報

コメ輸出に関する手続きの流れ、植物検疫、残留農薬基準、原発事故に係る輸入規制に関する注意点、各手続きに関する問い合わせ先を紹介。



「日本産米を世界へ」(①手続き一般編)



### 4. 日本産米の海外における需要情報

海外における日本産米の販売事例や求められている米等について、海外のレストランへのインタビューを紹介。



お米の新しい市場を開拓！【おむすび権米衛 in USA】日本産米おにぎりの普及に向けて



QRコードを掲載した動画以外についても、海外レストランでの取組事例や国内の事業者・生産者の取組事例等について、様々な動画を配信しています。

農林水産省HPまたはYouTubeで公開していますので、ぜひご覧下さい！

## Youtubeから見る

Youtubeの検索バナーで「お米の輸出」と検索！

お米の輸出 × 🔍

(「日本産米を世界へ」 URLはこちら)

<https://www.youtube.com/watch?v=0w4t0XwHCm4>

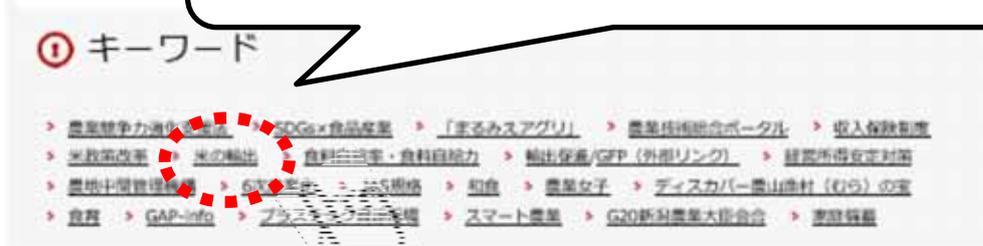
## 農林水産省HPから見る

トップページの「キーワード」にある「米の輸出」をクリック！

(ホーム > 政策統括官 > 米(稲)・麦・大豆 > 米の輸出について)



キーワードの「米の輸出」をクリックすると「米の輸出について」のページに移動します！



URL:[http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/kome\\_yusyutu/kome\\_yusyutu.html](http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/kome_yusyutu/kome_yusyutu.html)

お問合せ先：農林水産省政策統括官付農産企画課  
(TEL：03-6738-6069)



@japanesericeisbest



農林水産省は米の消費拡大を図る取組として、農林水産省HPや各種SNSで情報発信を行っています。

農林水産省HP  
米の消費拡大情報サイト  
「やっぱりごはんでしょ！」



Twitter @MAFF\_GOHAN



実施中のキャンペーン情報、ごはん関連ネタをご紹介します

Facebook @MAFFGOHAN



イベント情報や、お店の取材レポート、インタビュー記事などをご紹介します

Instagram

@japaneseraiceisbest



外国人をターゲットに「日本の美味しい」をご紹介します